



令和5年11月10日

各位

会社名 株式会社 コンセック
 代表者名 代表取締役会長 佐々木 秀隆
 (コード番号 9895)
 問合せ先 取締役管理本部長 岡本 浩一
 電話 082-277-5451 (代表)

特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

令和6年3月期におきまして、下記のとおり特別利益を計上することとなりましたのでお知らせします。
 また、最近の業績動向を踏まえ、令和5年5月12日に公表しました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社は、令和5年7月10日付「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社であった株式会社デンサンの保有株式全てを株式会社コンピュータシステム研究所に譲渡することを決議し、令和5年7月20日付で譲渡を実行いたしました。

本件譲渡に伴い、連結決算において関係会社株式売却益1億18百万円を、個別決算において貸倒引当金戻入額30百万円及び関係会社事業損失引当金戻入益72百万円を特別利益として計上いたします。

2. 業績予想の修正について

令和6年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（令和5年4月1日～令和5年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,000	30	50	20	11.15
今回修正予想 (B)	4,991	△56	△24	94	52.32
増減額 (B-A)	△9	△86	△74	74	
増減率 (%)	△0.2	—	—	369.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和5年3月期第2四半期)	4,532	△65	△48	△62	△34.72

令和6年3月期通期連結業績予想数値の修正（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,600	100	150	100	55.77
今回修正予想 (B)	10,500	70	120	200	111.53
増減額 (B-A)	△100	△30	△30	100	
増減率 (%)	△0.9	△30.0	△20.0	100.0	
(ご参考)前期実績 (令和5年3月期)	9,696	51	100	△2	△1.28

令和6年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（令和5年4月1日～令和5年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,000	50	25	13.94
今回修正予想（B）	3,977	19	137	76.37
増減額（B－A）	△23	△31	112	
増減率（%）	△0.6	△62.3	447.8	
（ご参考）前期第2四半期実績 （令和5年3月期第2四半期）	3,592	△19	△37	△20.63

令和6年3月期通期個別業績予想数値の修正（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,300	120	90	50.19
今回修正予想（B）	8,300	100	180	10.38
増減額（B－A）	－	△20	90	
増減率（%）	－	△16.7	100.0	
（ご参考）前期実績 （令和5年3月期）	7,505	84	△130	△72.42

修正の理由

【連結業績】

令和6年3月期第2四半期における連結業績は、大型工事案件の受注が当初計画より低調に推移したことに加え、原材料価格の高騰、円安の影響及び人件費等の増加により製造・販売コストが上昇したものの、販売価格への転嫁は市場環境を踏まえ一部の転嫁に止まったため、売上、営業利益及び経常利益は当初予想を下回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、「1. 特別利益の計上について」に記載のとおり、関係会社株式売却益計上の影響により、当初予想を上回る見込みです。

【個別業績】

令和6年3月期第2四半期における個別業績は、大型工事案件の受注が当初計画より低調に推移したことなどにより、売上及び経常利益は当初予想を下回る見込みとなりました。また、当期純利益については、「1. 特別利益に計上について」に記載のとおり、貸倒引当金戻入額及び関係会社事業損失戻入益計上の影響により、当初予想を上回る見込みです。

なお、今回の業績予想に伴う配当予想の修正はありません。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上